

大学院受験に向けて

今年度も終盤にさしかかってきました。そろそろ大学卒業後の進路を考え始めている方もいるのではないのでしょうか。今回は、「卒業後は大学院に進学したい」と思っている方に向けて、必要事項や試験対策について、私の体験談を交えながら述べたいと思います。

はじめにお断りしておきたいのは、私は、「令和2年度 人文社会科学研究科(修士課程)」の10月試験を受験しました。研究科によっては試験内容や日程が異なる場合があります。必ず受験予定の研究科の募集要項を確認してください。

〈出願前にやるべきこと〉

①出願資格を確認。※一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜で若干異なるので要確認。

特に学業成績について…

「出願時点において、修得する必要がある科目の全てを修得し、80点以上の修得単位が4/5以上であること」

②必要書類を揃える。

特に ・書類の誤字脱字

・検定料の支払い（検定料納付証明書の提出が必要）

・研究計画書（計画書をもとに面接が行われる）

には気をつける。

〈試験概要と対策〉

①外国語科目(ないところも) ②専門科目 ③面接

①外国語科目(筆者は英語で受験/ドイツ語、フランス語、中国語などでも受験可)

・長文2題（筆者の場合は、和訳する問題が多かった）

・辞書配布(一部領域を除く)。※ただし、何度も辞書をひくと時間が足りなくなるので注意。

・専門的な用語が出てくることもある。

〈対策〉 ・基本的な文法や英単語をしっかりおさえておけば大丈夫そう。

・余力があれば専門的な用語までおさえる。

②専門科目

・論述形式(筆者の場合は論述を2題)

・院で専攻予定のゼミの分野が出題。

〈対策〉 ・過去問を確認。※過去問は学部事務で閲覧可能(持ち出し、コピーは不可)

・卒論で扱った内容、関連テーマは必ずおさえる。

③面接(個別面接、約20分)

・出願時に提出した研究計画書をもとに面接

・修士論文で扱いたい研究テーマ(意義や研究方法など)と卒業論文について。

〈対策〉 ・計画書に書かれた内容は頭に入れておく。

・事前に想定問答をつくっておくと安心。



以上が、大まかな必要事項と試験対策です。特に、出願時は提出書類も多いので、準備に結構時間がかかります。検定料の支払いなど、**余裕を持って行動をすることが大事です。**

また、合格すると、3月に入学手続きがあります。2月試験を受ける場合は、合格発表後すぐなので大丈夫だと思いますが、10月試験を受ける場合は、合格発表から入学手続きまで少し期間が開くので、忘れないよう注意してください。

参考までに…

『令和4年度 琉球大学大学院 地域共創研究科(修士課程) 学生募集要項』より

※人文社会科学研究科は、2022年度より他研究科と併合して「地域共創研究科」へ

〈12月試験〉

出願：令和3年10月29日～11月4日

試験：令和3年12月11日

発表：令和4年1月12日

※例年、前期試験は10月実施

〈2月試験〉

出願：令和4年1月5日～1月11日

試験：令和4年2月19日

発表：令和4年3月11日

令和4年度の前期試験は、研究科編成の影響で12月試験になっているかもしれません。

令和5年度は10月試験に戻るかもしれないので、受験を検討している方は要確認。

(人文社会科学研究科 M2)